



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社サックスバー ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9990 URL <http://www.sacs-bar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 剛史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 山田 陽 (TEL) 03-3654-5315
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,426	0.0	1,894	△9.9	1,918	△9.9	1,168	△11.9
29年3月期第2四半期	27,417	△0.9	2,102	△11.1	2,129	△10.5	1,326	△10.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,199百万円(△14.7%) 29年3月期第2四半期 1,405百万円(△5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	39.67	—
29年3月期第2四半期	45.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	39,650	26,634	66.9
29年3月期	38,671	26,235	67.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,525百万円 29年3月期 26,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,640	1.6	4,352	△2.5	4,393	△2.9	2,636	△0.8	89.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	29,859,900株	29年3月期	29,859,900株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	402,465株	29年3月期	402,465株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	29,457,435株	29年3月期2Q	29,457,932株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

平成29年11月17日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策や日本銀行の金融緩和等により企業業績の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。海外でも、米国、中国、欧州等において経済は概ね堅調に推移しましたが、景気の下振れリスクや東アジア地域の地政学的リスクの拡大等により、先行きに不透明感が残りました。

流通業界におきましては、雇用情勢や所得環境の改善の効果が期待されましたが、賃金の伸びは低水準に止まり、消費者の節約志向がさらに強まり、競合も激化するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況下で、当社グループは積極的な事業展開を進めてまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,426百万円(前年同期比0.0%増)と前年同期並みに止まり、営業利益は1,894百万円(前年同期比9.9%減)、経常利益は1,918百万円(前年同期比9.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,168百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ、事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

<小売事業等>

小売事業については、積極的に19店舗の新規出店を行ない、店舗網の拡充に努めてまいりました。退店は14店舗となりました。

売上については、既存店売上高が前年同期比3.1%減とやや低調に推移しました。ハンドバッグは、プライベートブランドや提携ブランドが大幅に伸長し、同14.4%増となりました。インポートバッグは、「コーチ」、「キプリング」等が好調に推移し、同7.2%増となりました。一方、財布・雑貨類のうち、財布は同2.2%減となり、雑貨は同3.8%減となりました。メンズ・トラベルバッグは、トラベルバッグは同2.8%減となり、メンズバッグは同1.0%減となりました。カジュアルバッグは、人気アパレルブランドとの提携商品の売上が大幅に減少したため、同17.1%減と不振となりました。

この結果、当事業部門の売上高は25,850百万円(前年同期比0.5%減)となりました。売上総利益率は前年同期比0.1ポイント改善して48.2%となりましたが、販売費及び一般管理費率は前年同期比0.8ポイント増加して41.8%となりました。

<製造・卸売事業>

製造・卸売事業については、平成29年1月より取り扱いを始めた「LOJEL」ブランドのキャリーケースの取扱店舗を増やすとともに、既存ブランドの販売拡大にも注力し、売上の拡大を図ってまいりました。

この結果、当事業部門の売上高は1,886百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて979百万円増加し、39,650百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金が67百万円減少した一方で、現金及び預金が538百万円増加、商品及び製品が375百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて580百万円増加し、13,016百万円となりました。これは主に、未払法人税等が116百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が526百万円増加、社債が100百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて399百万円増加し、26,634百万円となりました。これは主に、剰余金の配当795百万円による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,168百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.6ポイント減の66.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて538百万円増加し、3,979百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて333百万円収入が増加し、1,773百万円のプラスとなりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益の計上額1,850百万円、仕入債務の増加額526百万円であります。一方、主な支出要因は、たな卸資産の増加額352百万円、法人税等の支払額754百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて661百万円支出が減少し、281百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、新規出店及び改装等に伴う設備投資262百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて34百万円支出が減少し、955百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、配当金の支払額793百万円、リース債務の返済による支出231百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月28日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想につきまして、次のとおり修正しております。詳細は、平成29年10月31日発表の「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(通期) 連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年7月28日発表)	百万円 58,634	百万円 4,575	百万円 4,606	百万円 2,781	円 銭 94.43
今回修正予想(B)	57,640	4,352	4,393	2,636	89.50
増減額(B-A)	△993	△222	△213	△145	—
増減率(%)	△1.7	△4.9	△4.6	△5.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期通期)	56,747	4,465	4,526	2,658	90.25

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,468,323	4,006,958
受取手形及び売掛金	4,123,013	4,159,313
商品及び製品	13,142,771	13,518,532
原材料及び貯蔵品	83,413	60,278
繰延税金資産	261,013	233,674
その他	123,768	197,552
流動資産合計	21,202,305	22,176,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,376,610	2,386,346
土地	1,921,930	1,921,930
リース資産(純額)	1,007,403	1,016,004
その他(純額)	476,906	506,623
有形固定資産合計	5,782,850	5,830,904
無形固定資産		
	49,683	43,782
投資その他の資産		
投資有価証券	3,293,202	3,337,911
退職給付に係る資産	123,235	131,815
繰延税金資産	603,091	580,500
敷金及び保証金	6,969,792	6,901,833
その他	714,653	714,862
貸倒引当金	△57,324	△57,324
投資損失引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	11,636,651	11,599,599
固定資産合計	17,469,185	17,474,286
資産合計	38,671,491	39,650,595

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,836,271	4,362,401
短期借入金	20,000	7,500
リース債務	408,253	439,241
未払法人税等	791,067	674,538
賞与引当金	373,338	334,203
役員賞与引当金	42,850	26,400
株主優待引当金	19,000	—
その他	2,062,330	2,200,061
流動負債合計	7,553,111	8,044,346
固定負債		
社債	1,700,000	1,800,000
リース債務	816,198	778,565
役員退職慰労引当金	122,406	125,675
退職給付に係る負債	997,696	1,031,061
繰延税金負債	28,651	28,534
資産除去債務	678,983	696,065
その他	539,371	512,184
固定負債合計	4,883,307	4,972,085
負債合計	12,436,419	13,016,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,569,597	4,569,597
利益剰余金	18,505,036	18,878,242
自己株式	△109,579	△109,579
株主資本合計	25,951,455	26,324,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,471	211,498
退職給付に係る調整累計額	△10,667	△10,942
その他の包括利益累計額合計	169,804	200,555
新株予約権	113,813	108,947
純資産合計	26,235,072	26,634,163
負債純資産合計	38,671,491	39,650,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	27,417,513	27,426,409
売上原価	14,251,953	14,254,219
売上総利益	13,165,560	13,172,189
販売費及び一般管理費	11,063,108	11,278,155
営業利益	2,102,451	1,894,034
営業外収益		
受取利息	32,355	32,735
受取配当金	1,353	2,027
受取保険金	50	—
受取手数料	7,141	6,024
その他	16,290	13,022
営業外収益合計	57,191	53,809
営業外費用		
支払利息	23,947	22,404
その他	5,884	7,350
営業外費用合計	29,832	29,754
経常利益	2,129,810	1,918,089
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,865
特別利益合計	—	4,865
特別損失		
固定資産除却損	13,235	24,064
店舗閉鎖損失	23,560	17,854
減損損失	24,257	30,449
特別損失合計	61,052	72,368
税金等調整前四半期純利益	2,068,757	1,850,586
法人税、住民税及び事業税	677,360	645,790
法人税等調整額	65,354	36,240
法人税等合計	742,714	682,030
四半期純利益	1,326,042	1,168,556
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,326,042	1,168,556

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,326,042	1,168,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,020	31,026
退職給付に係る調整額	8,351	△275
その他の包括利益合計	79,372	30,751
四半期包括利益	1,405,415	1,199,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,405,415	1,199,307
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,068,757	1,850,586
減価償却費	465,028	454,238
減損損失	24,257	30,449
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,753	△39,134
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,950	△16,450
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,050	3,268
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,905	33,364
受取利息及び受取配当金	△33,709	△34,762
支払利息	23,947	22,404
固定資産除却損	13,235	24,064
売上債権の増減額(△は増加)	248,781	△36,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	△508,110	△352,625
仕入債務の増減額(△は減少)	132,370	526,130
未払消費税等の増減額(△は減少)	△250,839	△28,836
社債発行費	—	2,259
その他	139,008	77,561
小計	2,264,980	2,516,218
利息及び配当金の受取額	28,527	34,412
利息の支払額	△23,951	△22,402
法人税等の支払額	△927,852	△754,432
法人税等の還付額	98,567	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,440,272	1,773,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△976,888	△262,999
有形固定資産の除却による支出	△16,408	△18,527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△943,296	△281,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,000	△12,500
割賦未払金の増加額	151,393	120,865
割賦未払金の減少額	△127,008	△137,315
リース債務の返済による支出	△206,335	△231,222
配当金の支払額	△793,369	△793,054
社債の発行による収入	—	97,740
自己株式の取得による支出	△123	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△990,444	△955,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	△351	1,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△493,820	538,634
現金及び現金同等物の期首残高	3,034,159	3,440,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,540,339	3,979,258

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。